

瀋陽駐在員事務所

予防接種用ワクチン

中国山東省で3月下旬、大規模なワクチン違法販売事件が発生しました。山東省のある医者が、ワクチン卸売企業関係者及びその他不法業者から不正に25種類の任意接種ワクチン（中国では、幼児向けの公費無料接種用ワクチンと自費で希望者が任意で接種するワクチンの2種類に分かれます）を購入し、中国の18ヶ所の省や市に、総額5.7億人民元（約95億円）を販売していたというものです。

出荷した時点では正規品であったワクチンが、低温輸送されず、常温で保管・輸送されたため、ワクチンとして失効したことが今回の事件の背景の一つですが、低温輸送の不完備（不使用）は、今回のワクチンなどの医療品以外に、食品の輸送・管理にも同じような問題が存在するように思います。

中国で冷凍冷蔵倉庫を運営する事業者の大半は中国の地場企業で、保管能力規模上位の企業であっても、1カ所の拠点のみで事業を展開している企業が多数で、全国を網羅して効率的に事業展開をしている企業がほとんどいないのが現状です。また、物流サービスの質も低く、価格競争が激しいため、コスト圧縮のために輸送中に冷凍・冷蔵機の電源を切るといった事象も頻発しています。中国国内で流通する果物、野菜、肉類、水産品についてみると、低温輸送による輸送率が低いことにも起因して、廃棄率が極めて高く、中国政府も非常に問題意識を持っています。

所得水準の向上などを背景に、低温/定温の温度管理が必要となる商品にかかる消費需要や物流需要は現実的に高まっており、消費者の立場からも、早急な低温/定温物流事業分野の発展・整備が望まれます。

張璐

新三板公司实杰生物卷入山东疫苗案
2016年03月22日 12:29 中国网



違法ワクチンの現地ニュース（新浪網）

ユジノサハリンスク駐在員事務所

トド見の季節

ロシアは、日本と同じ様に自然との繋がりが伝統的に深い国です。日本人が花見や紅葉狩りなどを楽しむ様に、ロシア人も自然との触れ合いを楽しみます。毎春、サハリン州には白鳥の群がオホーツク海岸に近づき、冷たい水でのんびりしています。白鳥以外にも、トドがサハリンにやって来て、ゆっくりと時間を過ごします。島の西岸に位置するネベリスク市周辺に、陸地から約150m離れ、水深も泳ぐのに十分なトドのお気に入りの快適な防波堤があるのです。トドを見るために、人々は双眼鏡を持って遠くからやって来ます。海面から2メートル程の防波堤に、約100匹のトドが仲睦まじくくつろいだり、海に潜ったり、海面から防波堤にジャンプしたりしています。トドの体色は茶色ですが、太陽の光で金色に輝いて見え、見ていても飽きません。決まった日にボートを運航し、トドを近くで見るツアーを企画する観光会社もあるようです。

綺麗な海の空気を吸いながら信じられないほど可愛い動物を見るのは忘れられない思い出になります。みなさん、この季節のサハリンは、ぜひトド見がおススメです！



マリア・ヤロヴェンコ

ウラジオストク駐在員事務所

2016年F1ロシアGPについて

5月1日、ロシア南西部にあるソチ市では2016年F1(フォーミュラ・ワン)第4戦ロシアGP(グランプリ)の決勝が行われ、メルセデスAMGのニコ・ロスベルグ選手(ドイツ)が優勝し、昨年のシーズンから続いている連勝を7勝目まで伸ばしました。2014、2015年に続き、F1ロシアGPは今年で3回目の開催となりました。昨年までは10月の開催でしたが、今年は気温の上がる春に変更となっています。ロシアGPは2014年の冬季オリンピックが行われた施設の敷地内にあるサーキット「ソチ・オートドロム」で行われます。同サーキットはF1だけでなく、他のクラスのレースイベントも開催されます。

ロシアでF1レースを実施しようとする動きはソ連時代の1980年代までさかのぼります。当時ソ連の首脳を務めていたブレジネフ氏がF1の誘致に前向きでしたが、すぐには実現せず、ロシア史上初のF1レースが開催されたのは2014年になってからです。今年のロシアGPは昨年に続きすぐにチケットが完売になるほどの人気ぶりを見せており、プーチン大統領も表彰式に参加し、上位3位の選手にトロフィーを渡しました。このあとは、6月中旬に旧ソ連のアゼルバイジャンでも同国史上初のF1レースが予定されており、独立国家共同体のF1への関心がますます高まりそうです。



イワン・モズゴヴォイ

日中経済協会 北京事務所 札幌経済交流室

公衆トイレ革命

「中国の公衆トイレは汚いから使いたくない」。今後、このような声は聞かれなくなるかもしれません。北京市市政市容管理委員会はこのほど、第13次5ヵ年計画期間中(2016-20年)に、「第5回公衆トイレ革命」を行うことを表明し、清潔さとサービスを向上させるための公衆トイレの新たな建設基準を発表しました。主な内容は以下のとおりです。

北京市では今年度中に700ヵ所の公衆トイレを改修・グレードアップする。距離にして300~500メートルごと、歩行時間にして5~10分ごとに一つの公衆トイレを設置する。

子供用の便器やバリアフリートイレ、トイレ内の温度が冬は12度以上、夏は30度以下に調節されるよう換気システムなどを設置する。

特定の地区には100ヵ所の「第5空間トイレ」を建設する。同トイレでは各種料金の支払い、現金の引き出し、Wi-Fi、休憩室などを設置する。

北京市では昨年の6月から屋内での喫煙が全面禁止となり、地下鉄内ではマナー遵守のビデオが連日流れるなど、様々な場面で市民のマナー向上運動が行われています。公衆トイレ革命は世界第2位の経済大国の首都に相応しいトイレ環境を整えることを目的としていますが、市民のマナー向上運動の一環とも言えそうです。



北京市の公衆トイレ
隣には管理人質も併設されている

小笠原 宅麻